

ハローホスピタル

Hello Hospital

病院の理念

職員が働きたい、働いてよかった、患者さんがかかりたい、かかってよかった
地域が在って欲しい、在るので安心といえる医療をおこなう



トピックス

- ・MQI活動「半日の会」
- ・各チームリーダーからの一言
- ・新任医師紹介
- ・「在宅症例検討会」開催報告
- ・「看護週間」開催報告
- ・栄養科特集～行事食について～
- ・地中海式健康和食レシピ
- ・患者さんの声にお応えします



公益財団法人 東京都医療保健協会

練馬総合病院

<https://www.nerima-hosp.or.jp>

MQI活動「半日の会」

(MQI活動: 医療の質向上活動)

MQI推進委員会副委員長
副院長・内科 科長 東 宏一郎

5月24日（土）午後に第30回MQI大会の「半日で計画を立てる会」が無事開催されました。

MQI推進委員・管理会議メンバーを含め77名が参加し、7つの部署の活動計画を共有し、問題点や方向性を活発に議論しました。

今年のテーマ「新たな挑戦への一歩を共に踏み出そう～持続可能な医療の提供のために～」にふさわしく、病院の強みとなりうる新たな取り組み、当院が推進するIT・DX化に関連した取り組み、入院・外来患者数増加に伴う検査枠の拡充・効率化、ひいては患者さんの満足度向上につながる取り組みであり、各チームともに良いスタートを切ることができました。

最後に、柳川院長から、MQI活動は、総合的質経営（TQM）の柱となる方針管理・日常管理に深くかかわる取り組みであり、全員参加の重要性や、チャレンジそのものに意義があることについてお話がありました。そのため、進捗管理については、MQI推進委員会だけでなく、本年より拡大科長会議でも行っていくこととなりました。

当院でのMQI活動開始から30年目の節目でもあり、本活動にさらに多くの職員が参加することで、リーダーとしての資質を身につけ、ひいては、地域に必要とされる病院として益々の飛躍につながっていくことが期待されます。

つながらな～ず
(看護部)



チームポチャッコ
(薬剤科)



UltraSonographer
(臨床検査科)



ラジエーションハウス
(放射線科)



パラダイスオールスターズ
(リハビリテーション科)



ホケンノヒト
(医事課)



はなセレブ
(内視鏡センター)



各活動のリーダーからの一言！

看護部

リーダー：三好 翔太

活動テーマ

『ICT(In Circle TALK)の運用方法を決め、
多職種との連絡に活用する』

ICTのメリットとしては、医師が手術中や外来中であっても直接報告できることがあげられます。医師は全員個人でiPhoneを持っており、個人宛てにメールができ、カルテメールも届いていることがわかる仕組みとなっています。医師と連絡が円滑に取れると考え、ICTを活用していきたいと考えました。



臨床検査科

リーダー：藤井 健介

活動テーマ

『当日依頼エコー検査を円滑に受ける』

臨床検査科は今年度、臨床の要望に応えつつ、ひっ迫しているエコー室の業務環境を改善するべくチームを立ち上げました。

耳鼻科、脳神経外科など診療科が増えたこともあり、エコー検査だけでなく生理検査室全体の検査件数も増加しております。

活動を通じて検査室全体の業務整理、改善に貢献できるよう精一杯努めさせていただきます。



薬剤科

リーダー：関口 このは

活動テーマ

『肥満症治療の体制を整え、
持続的な健康の改善を目指す』

肥満症の治療薬を使用するためには、食事指導を定期的に受けたり、運動指導を受けるなど、様々な決まりがあります。

そこで、薬剤科が中心となって、院内での運用方法を決めて、患者さんの治療をチームでサポートしていきたいです。



放射線科

リーダー：岡村 春菜

活動テーマ

『MRIの検査体制を最適化する』

放射線科ではMRIの検査の最適化の取り組みを行います。

患者さんのご希望の日時でご予約いただけるようにするとともに、脳卒中など緊急検査を必要とする患者さんへ迅速に対応できる検査体制を整えたいと考えています。



各活動のリーダーからの一言！

リハビリテーション科

リーダー：青山 駿

活動テーマ

『こぶし棟1階を利用した運動教室』

リハビリテーション科の活動では、こぶし棟の1階の健康推進ホールを利用した運動教室を開催したいと考えています。

身体機能の不安や運動方法に困っている患者さんに対して、運動機会を提供することにより健康維持・増進にご協力できる活動にしていきたいです。



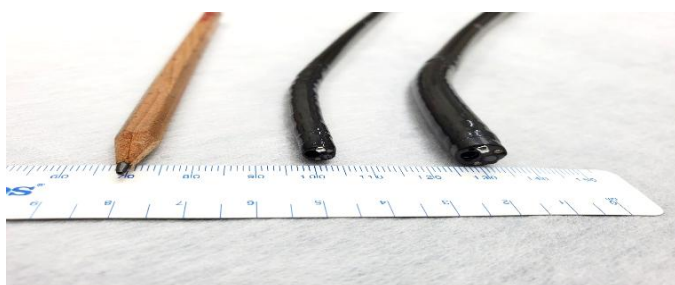
内視鏡センター

リーダー：堀川 由佳

活動テーマ

『経鼻内視鏡における鼻腔麻酔法の改善と標準化の取り組み』

苦痛のイメージが強い内視鏡ですが、今回のMQI活動を通して、検査前から検査中、検査終了まで、不安や苦痛を最小限に検査が受けられ、また「当院で内視鏡を受けて良かった！」と感じて頂ける取り組みにしていきたいと思えます。よろしくお願いいたします。



医事課

リーダー：近藤 拓也

活動テーマ

『保険情報への理解

～電子処方箋に対応できる体制づくり～』

自由診療や自賠責、労災で通院中の患者さんへは電子処方箋の発行ができず、紙処方箋でなければなりません。本活動を通して医師の発行する処方箋の保険情報誤りの傾向を分析し、対応を医師にフィードバックすることで電子処方箋で対応可能な患者さんの選定に活かし、処方箋の修正にかかる患者さんの負担軽減につながることを目標です。



新任医師紹介

研修医

懸高 隼都

(カケタカ ハヤト)

4月より初期研修医として勤務させて頂いております
懸高隼都です。



2025年3月に神戸大学を卒業し、当院に入職しました。

当院での初期研修医としての2年間、知識と技術を着実に身につけ、患者さん一人ひとりに寄り添う姿勢を大切に研修して参ります。

2年間という短い期間ではありますが地域に根付いたこの病院で患者さんの健康に貢献できるよう日々努力を惜しまず精進して参りますので、何卒よろしくお願いいたします。

病院からのご報告

「在宅症例検討会」 開催報告

地域連携室 栗原 直人・神村 敏紀

令和7年4月22日(火)、『第12回 練馬在宅症例検討会』を開催しました。この会は、在宅医療を支える多職種の方々と相互理解を深めるため、平成25年12月から開始しております。今回は、院内外合わせて129名の方々にご参加いただきました。テーマを『認知症・高齢患者の在宅調整困難事例』とし、講演、2症例の検討、総合討論を行いました。

症例1は、認知機能が低下した胃癌終末期・食欲不振患者の在宅療養支援について、症例2では、レビー小体型認知症患者の在宅医療・介護の問題点、胃瘻の有効性について検討しました。

総合討論では、高齢者・認知症患者の在宅支援での困難事例の経験と支援について、訪問看護ステーション、訪問薬剤師、地域包括支援センターの方々に、それぞれの視点から体験、現状、今後の展開についてわかりやすくお話しいただきました。

家族の支援が得られない事例や、認知症独居患者の事例など、一見すると在宅医療が困難と思える事例も、多職種同士密に連携を取り合い、患者に向き合うことで、在宅生活を実現しています。在宅チームの方々のご協力があるからこそ、実現できる退院支援であることを改めて実感致しました。今回、ご参加いただいた方々のアンケートの中には、「患者さんに真摯に向き合っている皆さんの話を聞いて、胸が熱くなりました。」という声が数多く見受けられました。現場の方々からいただいた貴重なご意見を、今後の支援に活かしたいと思います。

お忙しい中、今回ご参加・ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。



「看護週間」 開催報告

看護部 佐藤 松子

看護週間は、5月12日(月)～5月16日(金)でした。フローレンス・ナイチンゲールの5月12日の誕生に因んで、平成2年に厚労省が「看護の日」を制定しています。将来の高齢化社会を担っていく子供達にも看護の心・ケアの心を育てていけば、看護師になりたい人が増えるのではないかと願いが込められているということです。

当院では、5月14日(水)午前中は、病院正面玄関風除室で来院した患者さんに血圧測定、血管年齢測定、握力測定、血糖測定をし、その場で結果説明と指導を行いました。同時に看護相談も受けたので、受診するほどでもないような日頃の疑問の解消に繋がったのではないかと思います。

午後からは、下記の記念講演会を開催しました。

「めまいについて」	耳鼻科	町井衣保 医師
「めまいの時の検査について」	検査技師	小口美穂
「めまいの時の対応について」	外来看護師	小口里美

講演会開始が機材の不具合で10分程遅れました。大変申し訳ありませんでした。

また、この際の説明も不十分で不快な思いをさせてしまった事もお詫び致します。

めまいは、身近な症状の1つなので、様子を見たほうがよいのか、すぐに受診したほうが良いのか迷った時の対処についてのご質問が多くありました。今後も地域の皆様が興味のある内容を考えていきますので、よろしくお願いいたします。



栄養科特集！～行事食について～

当院の給食は病態別に20種類以上の食種と約100種類のコメントを設けて、個々の患者さんに合わせた食事提供を行っています。

病院食でも、季節や祝祭日を感じることができるよう、毎月1回以上の行事食を取り入れるようにしています。また、患者さんに喜んでいただけるようメッセージカードを添えています。

お節料理



節分料理



七夕料理



メッセージカード



行事食は幸せや健康を願う意味が込められています。

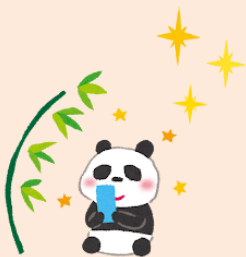
当院でも、患者さんの幸せと健康回復、また食文化の伝承や縁起を大切にしたい想いも込めて提供しています。

患者さんより「美味しかった」との声をいただいています。



地中海式健康和食レシピ

洋風白和え



食材/2人分

- 絹ごし豆腐・・・80 g
- ほうれん草・・・80 g
- コーン缶・・・20 g
- 粉チーズ・・・大匙2
- マヨネーズ・・・小匙2
- コンソメ・・・小匙1/2
- 塩・・・少々
- 胡椒・・・お好み量



作り方

- ① 絹ごし豆腐をキッチンペーパーに包み、600Wの電子レンジで1分半程加熱し、水切りをする。ザルに移し粗熱をとる。
- ② ほうれん草は根元を切り落として2cm幅に切る。耐熱容器にほうれん草、少量の水を入れてふんわりとラップをし、600Wの電子レンジで2分加熱する。冷水にさらし、水気をしぼる。
- ③ ボウルに絹ごし豆腐をちぎりながら入れ、★を加えて混ぜる。
- ④ ほうれん草とコーンを加えて混ぜる。



患者さんの声にお応えします

患者満足向上委員会

■「患者さんの声」に寄せられたご意見から抜粋して掲載いたします。

Q.身障者駐車場の利用を再開してほしい。

現在、発熱外来患者の待合室としてテントが張っており、身障者駐車場が利用できなく一般駐車場を利用しておりますが、非常に困っております。また身障者駐車場の再開案内、利用方法をホームページに記載して頂きたいです。

A. ご不便をおかけし、誠に申し訳ございません。

発熱外来患者の待合室テントの撤去が完了致しました。身障者駐車場の再開案内、利用方法をホームページに記載致しましたので、ご確認をお願い致します。



■患者さんから寄せられた感謝の言葉も掲載いたします。

●診察時の説明がとても良かったです。わかりやすく、丁寧で、素早く診て頂きました。
ナースさんも優しくて良かったです。(皮膚科医師・看護師へのコメント)

●大変丁寧に説明してくださり、実に今ときには、なかなかいらっしゃらない人材と感じました。
(検査予約センターへのコメント)



今後も皆様のご意見を参考に、
より良い病院づくりを目指します

＜次号＞ Vol.137 2025 年 10 月 発行

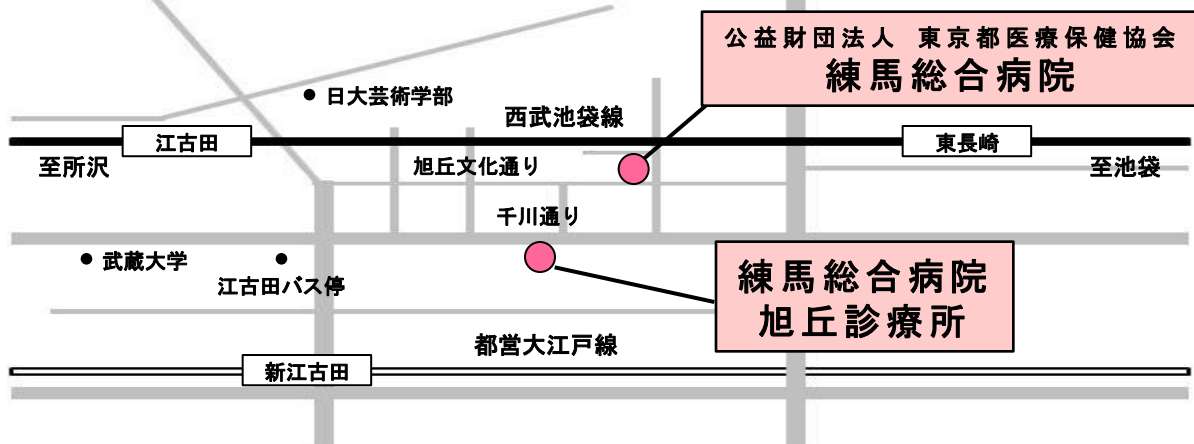
患者満足向上委員会・広報委員会では当院に対する
皆様からのご意見・ご質問などを“ご意見箱”や“E-mail”などでお待ちしております

ご意見箱設置場所
連絡先

各階談話室、玄関入口総合案内
Tel : 03-5988-2200 (代表)
Fax : 03-5988-2250
E-mail : info@nerima-hosp.or.jp
<https://www.nerima-hosp.or.jp>



当院へのご案内



●練馬総合病院

〒176-8530 東京都練馬区旭丘1-24-1

・診療 問い合わせ 03-5988-2290
 ・各種ドック、健診 03-5988-2246
 ・その他問い合わせ 03-5988-2200 (代表)
 FAX 03-5988-2250

●旭丘診療所

〒176-0005 東京都練馬区旭丘1-32-9
 第2MEマンション1階

・TEL 03-5982-8022
 ・FAX 03-5982-8045

交通：電車 ■西武池袋線 江古田駅南口 徒歩7分
 東長崎駅南口 徒歩10分
 ■地下鉄有楽町線 小竹向原駅④出口 徒歩15分
 ■都営大江戸線 新江古田駅 徒歩10分

【診療科目】

●練馬総合病院

内科／外科／整形外科／脳外科／皮膚科／泌尿器科／産婦人科
 眼科／耳鼻咽喉科／循環器内科／リハビリテーション科／救急科
 健康医学センター(各種ドック・健診)／内視鏡センター／糖尿病センター
 結石センター／スポーツ医学センター／婦人科低侵襲センター
 脊椎脊髄センター

●旭丘診療所

小児科／漢方内科

【受付時間】

練馬総合病院 8:00～11:00 12:00～16:00
 旭丘診療所 8:30～11:30 13:00～16:00
 (第2・第4土曜日のみ 9:30～11:30)

【休診日】

土曜日／日曜日／祝日／年末年始

【救急受付】

24時間・当直医常時3名体制 (内科／外科系／産婦人科)

【面会】

面会可能時間 平日、土日祝 15:00～17:30
 面会時間 15分
 面会人数 3名まで(18歳以上の方)